

セミナー研修報告書

21世紀の会、至誠の会合同セミナー研修の内容を下記の通り報告致します。

1 研修項目

「住民が求める議員・議会の役割と議員としての心構え」

2 講師

廣瀬 和彦

(株) 廣瀬行政研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事

3 研修日程

令和7年 1月29日(木) 10時00分 ~ 12時30分

4 研修内容

- ① 議員として7つの心構え
- ② 議会のあるべき姿
- ③ 議員・議会としての役割を果たすための視点
 - * 政策立案機関 ~ 議案の提案権・修正権・意見書など
 - * 監視機関 ~ 質問・質疑・調査権限など
 - * 議事機関 ~ 自由討議・討論・表決など
 - * 住民代表機関 ~ 請願・陳情・意見交換会など

5 セミナー参加者

21世紀の会	佐々木 義昭 (担当)
	千葉 榮 (議長)
至誠会	工藤 聡一郎 (担当)
	佐々木 聡 (副議長)

6 研修



〈 写真 セミナー受講中 〉



7 研修目的

No. 2

当市議会では他の地方公共団体に例外なく議員の成り手不足が顕著である。その要因として「当選出来なかった時の生活保障の不安や現職業と議員の兼務が難しい」、女性であれば「子育てや高齢者の生活を支えており、そちらの方が優先される」などの理由があり、その環境の改善に取り組む事は重要だが、それ以前に「自分たちの住むまちづくり」に関心を持って頂くためには何より市民に目を向けた議会運営に努め、市民と議会との信頼関係を築くことが肝要である。それには議員一人ひとりが市民の求める経済や医療・介護。社会福祉を含む生活環境の向上にできるだけ応える議員の資質が求められる。「いかに市民の声を行政に届けるか」、「市民から求められる議員になれるか」もう一度、議会の在り方、議員としての心構えを見直す機会に致したく、今回の地方議会セミナー「住民が求める議員・議会の役割と議員としての心構え」を受講する事とした。

8 所感

2時間半という短いセミナーだったが、議会の役割、議員の心構えを改めて感じた。

当議会としての二代表制、各種委員会の役割と必要性、政策立案や予算、そしてハラスメント対策や職員との適切な距離感まで住民の声の反映を効果的に行う手法など多面的な目線で捉えており、議会・議員として基本的な資質のエッセンスを学んだ。何より市民の生活に関わる各政策について議員間討議（当議会ではまだ行っていない）は、ぜひ今後取り組んでいかなければならない事案だと感じた。今後改選期の度に新人議員の教育や現役議員の忘れがちな「議員の心構え」や「議会の役割」を再認識するために、こうした資質の向上に役立つ勉強会を議会運営委員会や議会改革特別委員会で（議会基本条例を含み）開催したい考え、提言していきたいと思っている。

作成者 佐々木 義 昭
工 藤 聡一郎